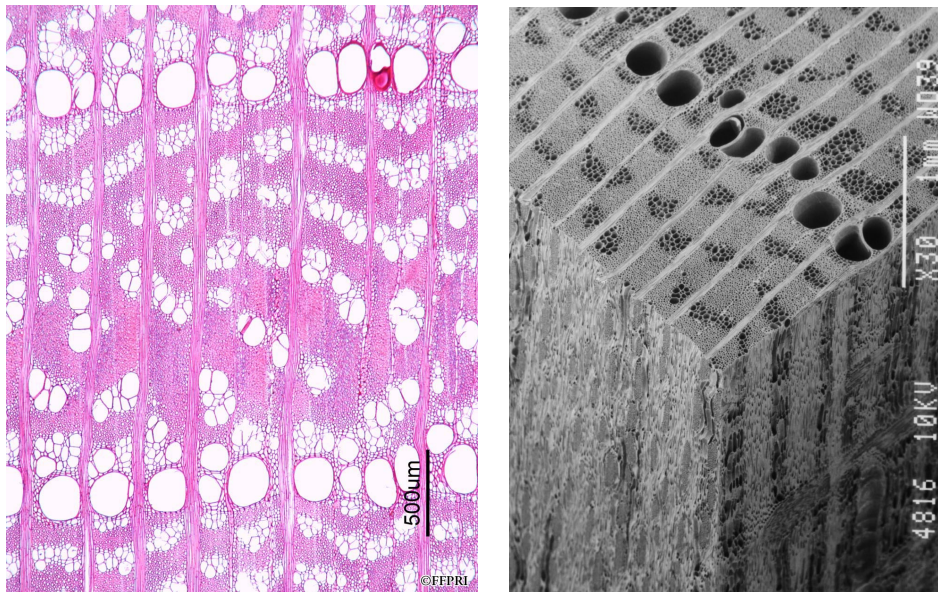


## 伝えたい木のおもしろさ

NPO 法人才の木理事・京都大学 教授 高部圭司

### 1. ルーペで木を見てみよう

木をルーペで拡大して見ると、意外にも様々なものが見えてくる。例えば前橋市の木であるケヤキをルーペでのぞいてみると、水の通路である道管と呼ばれる管が見えてくる。



ケヤキの光学顕微鏡写真と走査型電子顕微鏡写真

大きな穴が水を運ぶ道管である。(写真：森林総研 HP より)

### 2. 木の細胞が木の表情を作る

木は数種類の細胞の組み合わせでできている。そして、細胞の組み合わせ方の違いによって、木は様々な表情を見せる。

### 3. 桐たんすのすばらしさ

桐たんすは密閉性がよく、熱を伝えにくい。例えば家が火災にあっても、桐たんすの中の衣服は燃えずに守られている。なぜ桐のたんすがすばらしいのかについて解説する。

### 4. 世界文化遺産に登録された和紙

和紙の主要な原料はコウゾ、ミツマタ、ガンピである。これらは広葉樹の落葉低木であり、樹皮が利用されている。この樹皮を顕微鏡で見ると、とても面白い構造が現れてくる。

### 5. 木のおもしろ加工法

木は、切る、削る、彫るといった伝統的な加工法とともに、ちょっとした工夫で斬新な加工が可能である。今回はそのおもしろ加工法を紹介する。